

目次

表紙	
岩手の伝統芸能	1
知事就任にあたって	3
特集	
心に響く景観づくり	4
いきいき岩手人	
一本一本一人ひとり	9
トピックス	10
ズームアップ	
春の妖精たち	12
県政ホットナウ	
ここは世界が集まるところ	
県立国際交流プラザ	14
ネットワークいわて	
盛岡・北上・千厩・釜石・久慈・二戸	16
ふるさと訪問(千厩地方)	
交流から生まれるまちづくり(大東町)	18
インフォメーション	20
岩手を楽しむ	
県税Q & A	22
博物館ギャラリー	
南部絵巻	23
ふるさとの彩り	24

●表紙写真●
日本写真家協会会員
北條 光陽

●今月の表紙●

岩手の伝統芸能
なかのななずまい
中野七頭舞(岩泉町)
別名七つ舞、七つ物と呼ばれるこの舞は、山状神楽の一部が独立して出来た踊りと考えられ、その起源は天保年間(一八三〇〜四四)と言われている。七つの道具を持ち、七つの踊りを踊ることからこの名があり、五月三日に行われる白山神社の祭礼に奉納される。現在は、中学や高校の生徒を中心に伝承が行われており、県外での公演も多い。



初登庁に当たり報道関係者のインタビューを受ける増田知事(5月1日)



県庁前のこいのぼり掲揚式で幼稚園児たちと(5月2日)



知事就任にあたって

岩手県知事 増田 寛也

このたび、岩手県知事選挙において多くの県民の皆さまからご支持を頂き、県政を担うこととなりました。

21世紀が目前に迫り、時代が大きな節目を迎えようとしている重要な時期に知事に就任し、職責の重大さを痛感しております。と同時に、父のふるさと岩手の140万県民の夢と希望の実現に向けて、皆さまと手を携えて、汗を流していく決意を新たにしております。

私は、四国4県に匹敵する広大な県土を有するふるさと岩手に、そして、懐の深い岩手の大地に育まれてきた人々に、無限の可能性と計り知れない魅力を感じて参りました。

しかしながら、岩手にも課題が少なからずあると考えております。環境が厳しさを増している農林水産業の再構築をはじめ、高齢化社会の進展に対応した知的資産である高齢者の社会活動の促進、21世紀を支える若者の育成、県北・沿岸と内陸との地域格差の是正など、課題は山積しています。

また、現代は競争の時代でもあり、各分野において国際化の進展に伴う経済交流や国内の産地間競争が激しさを増してきています。全国の都道府県は今、競争に打ち勝ち県勢を伸ばすために懸命の努力を行っています。このような状況にあって、岩手県が他の自治体に遅れをとることがないように県政を推進していく必要があります。

私は、これらの課題を解決していくことが課せられた任務であると認識し、「夢あふれる21世紀の県土づくり」を目指し若さと情熱を傾け、県政に全力で取り組んで参ります。そして、岩手の良さ、個性、独自性を全国に向け声を大にして主張して参ります。

若輩である私に、21世紀への岩手のかじ取り役を託していただいた県民の皆さまのご期待にこたえ、全国に誇れる岩手、世界に開かれた岩手の建設のために精一杯努力して参りますので、皆さまのご支援ご協力を心からお願いいたします。